

平成29年8月3日

九州地方整備局

熊本港湾・空港整備事務所

大雨による流木等の回収について（最終報）

7月5日からの梅雨前線の活発な活動による大雨により、周辺の河川から有明海への流木等（流木、萱・草）の流入が確認されていたことから、熊本港湾・空港整備事務所では、海洋環境整備船「海輝」・「海煌^{かいこう}」により7月6日から有明海の流木等の回収作業を実施してきました。

7月6日から7月28日までの、日々の漂流ごみの回収量の累計は812.3³m³（内流木1,342本）です。（別紙グラフ参照）

以上をもちまして、今回の大雨による漂流ゴミの回収量の公表は終了いたします。

今後の漂流ゴミの回収量の情報は、当事務所ホームページ上で1ヶ月ごとに公開していきます。

また、過去の漂流ゴミの回収量の情報もあわせて、ホームページ上に公開しています。



海煌による多関節クレーンを使用した流木の回収
（7月7日、多比良沖にて）

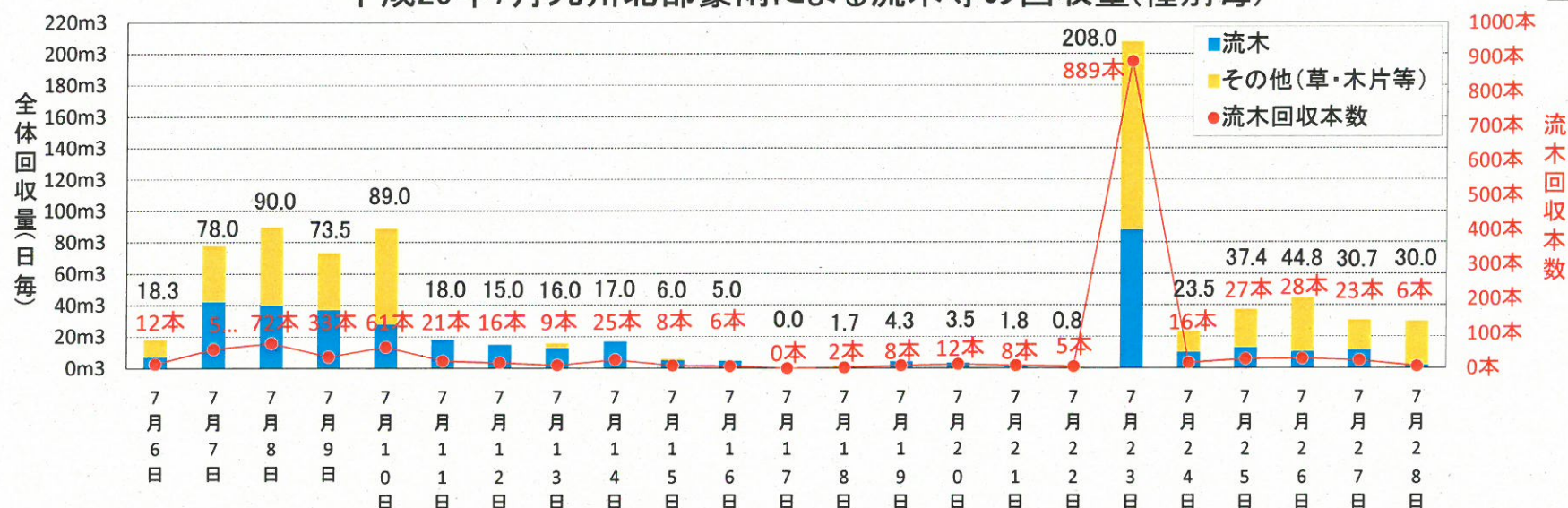


漁船と連携した漂流ごみ回収（7月23日、柳川市沖にて）
写真奥には海煌、左は支援台船

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所
副所長 陶山 秀二 代表：096-357-0222

平成29年7月九州北部豪雨による流木等の回収量(種別毎)



平成29年7月九州北部豪雨による流木等の回収量(各船等毎)

